

# べっふ 市議会だより

2014.11.1

NO.120



第12回べっふ子ども市議会開会

## ..... CONTENTS .....

**P2～3**

議決内容(補正予算、条例の制定及び一部改正、意見書等)

**P4**

議案質疑 「実相寺パークゴルフ場の安全対策について」  
「地熱発電等への給水及び朝見浄水場管理業務の民間委託について」

**P5**

常任・決算特別委員会審査

**P6～11**

一般質問(15名が市政を問う)、「市民と議会との対話集会」活動報告

**P12**

第12回べっふ子ども市議会スナップ集、編集後記 ほか

## ● 平成26年 第3回(9月) 定例会

9月定例会は、まず補正予算や条例案件などの30議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会の審査の後、採決の結果、すべて原案のとおり可決等されました。

また、追加上程された「平成25年度別府市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定」については、決算特別委員会が設置され継続審査とすることとし、監査委員等の任命については同意を与えることといたしました。主な内容は以下のとおりです。

### 補正予算

- ◎平成26年度別府市一般会計補正予算  
補正する額は7億7570万円で、総額467億2200万円になります。主な内容は次のとおりです。
- ◇介護保険施設等整備費補助金 3000万円  
地域支え合いセンター建設に対し助成するもの
- ◇予防接種に要する経費 4458万6千円  
定期接種化された水痘、高齢者肺炎球菌について予防接種委託を行うもの
- ◇公有林整備に要する経費 1678万5千円  
雪害を受けた市有林の伐採・処分について委託するもの
- ◇実相寺パークゴルフ場開設準備経費 3377万4千円

### ◇基金積立金

6億2841万8千円

- ◎平成26年度別府市国民健康保険ほか4事業特別会計補正予算  
7億7829万9千円  
前年度決算に伴う繰越金の計上等によるもの

- ◎平成26年度別府市水道事業会計補正予算

### 決算認定等

- ◎平成25年度別府市水道事業剰余金の処分及び平成25年度別府市水道事業会計決算の認定について

- ◎平成25年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成25年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

### 条例の制定等

- ◎別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

### 9月定例会 会期の経過

- 1日 議会運営委員会
- 8日 本会議(議案上程等)
- 11日 本会議(議案質疑、委員会付託)
- 12日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問) 議会運営委員会
- 17日 本会議(一般質問) 広報広聴委員会 決算特別委員会
- 18日 各常任委員会 会派代表者会議
- 24日 本会議(各委員長報告、討論、表決等) 議会運営委員会

- ◎別府市公共施設再編整備基金条例の制定について  
公共施設の再編整備を計画的に実施する財源を確保するため、基金を設置するもの

- ◎別府市手数料条例の一部改正について

- ◎別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
ほか1件

- 実相寺パークゴルフ場の設置に伴うもの

- ◎別府市福祉事務所設置条例及び別府市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について  
母子及び寡婦福祉法の題名が改められたこと等に伴うもの

- ◎別府市保育所における保育の実施に関する条例の廃止について  
ほか2件

- 児童福祉法の一部改正に伴うもの

◎別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

◎別府市指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

ほか1件  
介護保険法の一部改正に伴うもの

◎別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

◎別府市水道事業給水条例及び別府市簡易水道事業給水条例の一部改正について

区営・地区温泉給水及び地熱発電給水に係る水道料金を定めるもの

## 人事

次の方を、選任することについて同意を与えることといたしました。

◇監査委員

高森 克史

◇別府市固定資産評価審査委員会委員

高橋 靖  
菅 雅幸

## その他

◎新たに生じた土地の確認及び町の区域の変更について

◎議決事項の変更について

◎製造請負契約の締結について

◎工事情負契約の締結について (5件)



《西・青山統合小学校(仮称)新築校舎イメージ図》

◇西・青山統合小学校(仮称)東教室棟外新築工事

◇別府市民球場防球ネット設置工事

◇別府市中央公民館・市民会館改修工事ほか2件

## 意見書

議員より意見書6件が提出され、4件が原案のとおり採択されました。採択のされた意見書は、直ちに衆・参議院議長、内閣総理大臣、その他各大臣等へ送付されました。

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書

手話が日本語と対等な言語であることを示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の提供を受けたり、手話によるコミュニケーションを行うことが保障され、手話を必要とする人が社会に自由に参加できる環境を整備することを目的とした「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう要望する。

◎魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書

立法、司法、行政を始め、経済・金融や研究・学術の機関などを全国の地方都市に分散させることを要望する。 ほか4項目

◎「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

インターネットを含む国内外の販売・流通等に関する実態調査及び健康被害との因果関係に関する調査研究の推進、人員確保を含めた取締態勢の充実を図ることを要望する。 ほか2項目

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

地方財政計画、地方税のあり方、地方交付税総額の決定に当たっては、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定することを要望する。 ほか6項目

◎消費税率の引上げ決定を性急に行わないよう求める意見書

〈否決〉

◎国民健康保険に対する国庫支出金の減額措置の見直しを求める意見書

〈否決〉

## 別府市議会は8月20日豪雨災害を受けた広島市に対し義援金を贈呈いたしました。

このたびの広島市をはじめ、全国各地で豪雨災害等によりお亡くなりになられた方々と、ご遺族に対しまして、深く哀悼の意をあらわします。また、被害を受けられた多くの方々には、心からお見舞い申し上げます。

## 議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。  
9月11日に6名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

### ◆実相寺パークゴルフ場の安全対策について

**問** 実相寺中央公園整備に要する経費、防球ネット設置負担金1千万円、これについての説明をお願いします。

**答** 実相寺パークゴルフ場については、安全対策等に時間がかかりましたが、諸問題の解決に向け取り組みの結果、来年3月のオープンの見通しが立ちました。  
この予算については、パークゴルフ場に隣接するゴルフ練習場が設置する防球ネットに対する負担金で、隣接するゴルフ練習場と安全に対する協定書を結びまして支出しようとするものです。



《3月にオープンする実相寺パークゴルフ場》

その協定内容は、第1点目に防球ネットを早期に設置をするもので、今から特殊な鋼管の発注、土木工事建設工事等々の部分も兼ね合います。本年度中にパークゴルフ場がオープンできるような形で設置を行うというものです。  
第2点目は、その工事の情報、例えば飛球のシミュ

レーション等についての情報をいただくということですので。

それから第3点目は、その他、防球ネットにかかわらずパークゴルフ場の安全対策等に問題が生じた場合、相隣関係になりますので、誠実に協議をしていくという主体の協定書を結ぶように考えています。また、その大筋の合意はいただいています。

防球ネットの設置については、総事業費1億円のうち、市負担金1千万円ということで予算措置をし、お願いしています。

### ◆地熱発電等への給水及び朝見浄水場管理業務の民間委託について

**問** 地熱発電給水、地熱バイナリー発電に必要な冷却水、地下水でなくて水道水を利用させようということですが見通しとして何件ぐらいの契約がとれ、その収益はどのくらいか。また、

市有区営温泉に還元するということですが、その純益と還元についてお聞きしたい。

**答** 今年度中に5件程度の契約を目指して取りかかるようにしています。収益は、5件で年間1360万円ほどを見込んでいます。これはとればとれるほどふえていきますので、しっかりと営業をさせていただきたいと思っています。

また、その財源を、長年懸案事項でございました共同温泉の水道料の使用料の減額に回します。これは年額で見ると587万円程度の減額となります。対象者は、現時点で81の施設で、今の減額幅でいくと平均で36・2%となります。しかし、65の施設の皆さんは基本料金内なのです。そうすると基本料金は半額にします。で、約8割の施設の水道料金は半額になる予定です。

**問** 朝見浄水場の民間委託ですが、水道局が責任持って、水の安全性を担保して

やっていたいただきたいと思いますが、どうですか。

**答** 朝見浄水場ですが、安全の担保につきましては、ここ1年間協議を重ねてまいりました。十分な安全対策をとろうということで、受託業者が問題なく業務を遂行できるように適切な引き継ぎ期間を設ける。

それから受託業者に対する指導監督のために、委託後も専門職員を配置する。そして、安心・安全な水の供給に対して、これは今まで直営でもやっています。が、官民連携でしっかりと取り組んでいく。そういう体制を整えてまいりたいと思っています。



《民間委託が決定した朝見浄水場》

## 委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

### 総務企画消防委員会

別府市公共施設再編整備基金条例の制定について、新設される基金は、現行の公共事業費基金の役割を展覧させ、公共施設の計画的な再配置と改修に、より重点を置いたものとし、また、再編という名称は市民に対するメッセージを強く意識したものであるとの説明がありました。

また、委員から施設の改築、改修については国庫補助金等の活用を念頭に、時期を逸することのないよう進めるとともに、市民への改修計画の情報開示を行うよう意見がありました。



### 観光建設水道委員会

一般会計補正予算のうち、地域人づくり事業として、中小企業等に勤める従業員の賃金改善や非正規労働者の正社員化など、処遇改善を支援する経費を計上するとの説明がありました。

これに対し、委員から、支援対象事業所の範囲について質疑があり、当局から、



《雪害を受けた市有林》

支援対象事業所は市内にあるものに限るとの説明がありました。

また、委員からの、予算額が300万円というのはいくつもないかという質疑に対し、当局から、申請の状況を勘案し、必要があれば、予算額の追加も検討するとの答弁がありました。

次に、本年2月の大雪により被害を受けた市有林を復旧するため、被害木の伐採・処分を行うための経費について、委員から、伐採した木の取り扱いについて質疑があり、当局から、バイオマス燃料となるチップ材とするとの答弁がありました。

### 厚生環境教育委員会

別府市福祉事務所設置条例及び別府市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正についてほか4件については、当局より、

国の法改正により、関連する条例を制定・改正・廃止するものであり、新たな条

例制定にあたっては、国の基準をもとに本市の実情を踏まえた修正等を加えていくとの説明がありました。

委員より、児童クラブにおいての幼稚園児の受け入れ、及び放課後児童クラブにおいて児童一人あたりの占有区画面積の基準を満たしていない事業所の対応はどうするのか、といった質疑があり、当局より、条例施行後5年間は経過措置を設けたことにより猶予を設けているが、今後状況を見ながら、教育委員会や財政担当部署と協議を行っていきたいとの答弁がありました。

また、保育士資格保有者の配置数や食事提供等において、きめ細かな配慮が必要ではないかといった意見があり、これに対し当局より、国の方針として、利用者には様々なニーズがあり、選択できる仕組みをとったためであるとの答弁がありました。

### 決算特別委員会

本委員会は、審査の方法及び日程等について協議をいたしました。一般会計及び各特別会計歳入歳出決算については、その内容が広範多岐にわたるため、今会期中に審査を終了することが困難であるとの観点から、さらに閉会中も引き続き継続審査とすることに決定をいたしました。

また、新たに決定した委員は次のとおりです。

- ◎市原隆生 ○松川峰生
- 手束貴裕 野上泰生
- 森山義治 松川章三
- 国実久夫 平野文活
- (◎は委員長 ○副委員長)

### 第4回定例会の日程

次の定例会は12月4日(木)から18日(木)を予定しています。(日程は変更となる場合があります。)

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月12日から17日の3日間15名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

## 市営温泉の施設・入浴料の見直しを

市民クラブ

加藤 信康 議員

**問** 市営温泉は、観光客を対象にした温泉と、市民の日常生活に根付いた温泉とに大別される。利用者も少なく収支バランスの悪い施設は廃止も含めてあり方を見直すべきと思うが、どう考えるか。

**答** 料金改定について、普通浴料では、平成13年度に80円から100円に値上げして以来、実質的には十数年間変わっていません。また、収支も福祉施策である無料優待券が大きく影響しています。料金改定はもちろん、施設の活用方法の緩和、民

間の自由度を高めるなど二層努力したいと思えます。



《リニューアルが進む市営温泉》

**問** 市営温泉の入浴料を市民と市外の利用者で差をつけたらどうか。

**答** 市営温泉のリニューアルが進んでいる状況の中、住民サービスと受益者負担のバランスは考えていかなければならない。市民以外の利用者の別料金設定も含め、今後検討していきたい。

**問** 民間の事業用太陽光発電設置に対する市の考え方は。

**答** 現行、太陽光発電設備を直接規制する法令やガイドライン等はないと認識している。事業者には法令を遵守していただくことが第一義だが、「別府市地域新エネルギー導入の事前手続き等に関する要綱」に沿って行政指導を行いたい。また今後、要綱の実効性を高めるため条例化を視野に入れて検討したい。

## 市営納骨堂、介護保険、道路の改善

日本共産党議員団

平野 文活 議員

**問** 市営納骨堂について、6月議会でも質問したが、建設の見通しはどうか。

**答** 市営墓地5カ所の空きスペースを活用する。野口原墓地の場合6百〜千基の収納が可能で、実施計画にあがる方向で検討している。

**問** 要支援1・2のヘルパー、デイサービス利用者が約1500人おり、週1〜2回利用している。この方々は、いつから介護保険給付から外され地域支援事業に移されるのか。

**答** 介護認定の有効期間の更新時期を迎えた方から順次移行する。

**問** 移されたら自立に向けた目標と期限が設定され、また専門家によるサービスが受けられなくなるのではという心配があるがどうか。

**答** 半年から1年以内に、自立に向けた成果を出すようケアプランをつくり、サービス担当者会議で協議しながら進めます。

**問** 都市計画街路・旧坊主別府線(原交差点〜横断道路)の道路整備について見通しはどうか。

**答** 事業を実施する場合の最適路線を選定するため、今後、概略設計を行う予定

です。

**問** あわせて「今井橋付近などの危険箇所部分改良」という地元の要望については、どうするのか。

**答** 概略設計をもとに、あらゆる手法を勘案して関係課と協議し、事業化を努力します。

## 家庭教育支援・国道10号の横断等

自民党議員団

野上 泰生 議員

**問** 家庭教育(生活の為に必要な習慣や自立心の育成)に悩みを抱える市民は多い。行政の支援策は。

**答** 「家庭教育チャレンジ学級」等の学習機会の提供を行っている。

**問** 共働き等で参加できない人が多い。電話やネットでの相談を充実すべき。

**答** 検討したい。

**問** 不登校児童は増えている。従来の対策では不十分。訪問型支援等の積極的な取り組みが必要。

**答** 今年度から家庭教育支援チームによる訪問型の復学支援事業を開始した。

**問** 将来的には全小中学校に家庭教育支援チームを配置して不登校の復学支援をしてほしい。早期に着手できる事として、複雑な子育て・教育相談窓口の一本化を求める。

**答** 住民サービスを考えると、ワンストップで対応できる子育て相談窓口の一本化が必要と考える。

**問** 国道10号の横断歩道での、青信号の時間が短く、住民から不満の声がある。今夏には死亡事故も起きた。ともに生きる条例もあり、もっと歩行者に優しい道路であるべきだ。

**答** 管理者の警察では、渋滞防止と歩行者の安全確保

の観点から現在の時間としているが、住民の意見を確認するなどして再度警察と協議したい。



《歩行者にやさしい道路に》

### 地方創生へ向けての別府市の取組は

創政会

野口 哲男 議員

**問** 国は50年後人口1億人を維持するとして地方創生本部を新設した。人口減少問題、地域経済の活性化に取り組む事を決め、ベンチャー企業の育成、若者の雇用対策正社員化、育児子育て

待機児童解消を図るとしている。別府市の今後の具体的な活性化策等は。

**答** 市としても総合計画後期基本計画の策定に向け、事前調査に着手しているが、社会経済状況の変化、国県の動向等を踏まえ総合計画を見直す。若手経営者による新規起業の促進や子育て支援等、地方創生を念頭に移住定住の促進や経済活性化等重点目標として取り組みたい。

**問** 報道等によれば大分県教職員組合が韓国平和の旅として、日本軍慰安婦歴史館、西大門刑務所跡、安重根(伊藤博文暗殺者)記念館等見学や戦争体験講話参加の内容で、助成金を出し格安で違法な旅行募集を実施、国交相、文科相、観光庁からルール違反と指摘されマスコミ等からも教育上不適切だと批判された。別府市教委の対応と市内からの参加者は。

**答** 別府市の教職員の参加

はなかったが、個人の海外旅行とは言い市民からの批判を受けることのないよう、また服務について適正な処理に努め、説明責任を果たせるよう指導した。

### ふるさと納税について

自民党議員団

松川 章三 議員

**問** 今年3月議会で、ふるさと納税について質問したが「関係各課と協議していききたい」と答えている。その後の取り組みはどうなっているのか。

**答** 年内には、新しい仕組みの概要をまとめる予定である。

**問** 本市のふるさと納税の状況とその理由は何か。

**答** 前年度と比べ、件数で約3倍の25件、金額で1.6倍の278万2千円である。納税額の高い自治体の比でないことは承知している。

**問** 先進地は、ふるさと納税の係や担当者を置いているが、本市にその考えはないのか。

**答** 現在、ふるさと納税担当者とは他の業務との兼務である。部署の新設は難しいが、今後の業務量等を予測し進めていきたい。

**問** 制度は、政府の重要政策になっている。制度の活用は自治体の政策能力が問われている。この制度を、今すぐ強く推進するべきと思うが、市長の考えを聞きたい。

**答** ふるさと納税制度は、別府らしい特産品を検討している。宿泊券、グルメ、海浜砂湯等、別府の財産、宝がある。日本の温泉を活かして、地域経済の活性化を目標に、チームを作って頑張っていきたい。



別府市の人口減少問題と  
税収問題

自民党議員団

首藤 正 議員

**問** 減少を続ける別府市の人口問題は、将来の発展に大きく左右する問題である。このままの状態では、後10万人を切るようになるのか。この問題を解決するためにどのような政策を計画し実施していくのか。

**答** 国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は2040年に10万人を割り込むと推計されている。別府市公共施設マネジメント計画の将来人口では、もう少し早く2035年に10万人を割ると予測している。人口減少問題を解決するためには、今年度中に策定予定の「子ども子育て支援計画」を実行し、社会動態へのアプローチをして移住、安住を促進する各種施策の実行が必要となる。危機意識を庁内全体で共有し、その体

制を整えていきたい。

**問** 税収問題は、人口減少問題と大きく関連する問題である。税収の中心となる自主財源を如何にして増すのかその具体策はあるのか。

**答** 自主財源の確保としては、遊休市有地の有効活用のほか、使用料・手数料等の受益者負担の見直し、資金の効率的運用などのほか、産業振興、子育てや教育環境整備、民間投資につながる市有地売却などの施策を実施していきたい。

寡婦(夫)控除の  
みなし適用について

市民クラブ

三重 忠昭 議員

**問** 抜本的な税制改正も必要だが寡婦(夫)控除は結婚歴により適用の有無がある。それにより保育料や公営住宅の家賃にも差が出てくる。結婚歴がなくても控除のみなし適用を導入している自

治体もある。子育て支援、子どもの貧困対策の観点からも導入をすべきと考えるが。

**答** 別府市も各市の動向を見ながら関係課と協議し、検討していく。

**問** 不登校や保健室登校をする子どもが増加する中で、養護教諭の重要性が増しているがどう捉えているか。

**答** 日常的な関わり等を通して、子どもの心身の問題の早期発見、対応など重要な役割を担っていると考える。複数配置のために加配を申請することもできる。

**問** 境川・春木川を守る会の愛護団体や地域住民の方々が環境美化に努めて頂いているが、整備が追いつかない所もある。管理者の県と相談し公共性の高い団体等に河川敷を利活用できないか。

**答** 内容によっては可能と回答を頂いている(植花等)。

協議していく。



《河川敷の利活用を求める》

**問** 放置自転車を就学支援に必要な高校進学の子どもに提供できないか。

**答** 実施に向け努力したい。

市長の退職金総額  
7126万円

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

**問** 可燃ごみ収集92.6%を民間委託、仕事が大幅に減少したのになぜ16名採用したのか。

**答** ゴミ収集だけではない。

**問** 県下单独校での調理は5市だけ。正規職員は別府市と2市だけ、新たに調理員21名採用、調理は正規職員でなければできない仕事なのか。

**答** 一定の正規職員がいれば非正規職員で可能。

**問** 91の公共施設修理費の見込み額は、修繕が行われていた場合、50年間で1735億円。全くされていない場合、2044億円の見込みでいいか。

**答** 見込どおり。

**問** 財政の厳しさは想像を超える。この危機乗り切りは大改革以外ない。財政危機なのに、市長の退職金は12年間で7126万円。なぜ、市長に退職金が必要か。

**答** 誰が市長になっても退職金は必要。

**問** 財政窮迫下、市長が退職金をもらっては市民の理解が得られない。私は市長



の退職金を廃止すべきと確信している。

**答** 他市の市長ももらっている。

**問** 小泉元総理の退職金は5年間で650万円、市職員は40年近く働いて2600万。退職金は年金生活者や障がい者等の税金。僅か12年間で7126万円は異常で廃止すべき。

**答** 退職金は必要。

空き家対策について

公明党

市原 隆生 議員

**問** 今までも、市民の方より、空き家についての様々な苦情をお聞きし担当課にも対応をお願いしてきました。特に夏は草木等が繁茂し、多量の蚊が発生。近隣に飛来して迷惑をかけている。また、猫が棲みつく。加えて、餌をやる人があり、結果、猫が集まってきて衛生上よくない

い環境になっている。更に、空き家、空き倉庫に不審者が入り込み、火災が発生したケースも数件あったと聞いている。自治体によっては、独自に条例を定め、罰則さえも設けて住民の要望に応じていこうとするところもある。国が進めようとしている空き家対策法案についても、効果が期待できる内容のようだが、別府市の実情に合った条例の整備を考えるべきではないか。

**答** 市民の皆様から連絡があった場合は状況に応じて現地の把握に努めています。特に老朽家屋については景観や危険性等、悪影響についても承知しています。所有者の特定を行い、判明した場合は改善を求める通知をします。国が進めている法案につきましても過料等の罰則規定が盛り込まれていますが、この法案の効果を検証しながら対応を進めたいと考えています。



共同温泉への支援策の内容は

公明党

荒金 卓雄 議員

**問** 水道料金に新設した区営・地区温泉給水の内容は。

**答** 100<sup>3</sup>mまでの基本料金は現行の半額、超過料金は一律156円(1<sup>3</sup>m当り)になります。契約中の多くの共同温泉で料金が半額になる試算です。

**問** 地下水を冷却水に使用しているバイナリー発電施設に対し、水道水使用に転換を進める売上で新収益が生まれる。それが共同温泉支援の財源になるのか。

**答** 共同温泉の水道料金減額は年間で約587万円です。地下水使用を減らすことで、温泉湧出への影響を防止、新収益を財源として共同温泉に支援ができる提案です。

**問** 消費税引上げに伴う暫

定的・臨時的な措置である、臨時福祉給付金の申請状況は。

**答** 6月末に支給対象予定者に申請書を同封したお知らせを郵送しました。8月末現在で、申請受付率は69.3%。同主旨の、子育て世帯臨時特例給付金は89.9%です。

**問** 100%の申請を目指して未申請者への対策は。

**答** 10月に再度、お知らせを郵送します。更に、市報と市ホームページでも広報を続け、一人でも多くの人が受給できるように推進します。

別大毎日マラソンについて

公明党

堀本 博行 議員

**問** 別大毎日マラソンの今までの発着場所と参加人数の推移は。

**答** 発着場所は、昭和27年



《別府発着だった別大毎日マラソン》

の第1回大会から昭和58年の第32回大会まで別府発着、第33回大会から第58回大会までは、大分市宮陸上競技場発着、別府国際観光港折返して開催されました。平成22年の第59回大会からは、現在のうみたまご発着、別府亀川バイパスを折り返し大分陸上競技場着となっています。次に、参加人数は、第1回大会は37人でした。以降、第59回大会(平成22年)までは、概ね500人前後で推移しております。第60回記念大会から、従来の制限時間が2時間50分から3時間30分に緩和され、

併せて女性ランナーの参加が可能となり、2千人前後となっております。今年2月に実施しました第63回大会では、3213人が参加されています。

**問** 現時点で、5万人を超える署名があったが、別毎日マラソンを市民マラソンにしていこうという考えはありますか。

**答** 5万人を超える市民の声ということ、この問題をしっかりと受け止めて頑張っていきたいと思えます。

**南部地区振興、スポーツ観光について**

勝政会

国実 久夫 議員

**問** 楠町地区の下水道整備の年度、期間はどのように考えていますか。

**答** 楠町地区は、市街地の中で重要と考えており、概ね3カ年で国道10号から楠銀

天街までの未整備箇所の整備を行い、その後、楠銀天街より山手側の整備を約3年間で行います。平成31年度には、楠町地区の整備率100%を目標としております。

**問** 浜脇・山の手中中学校の統合が発表されているが、検討する際に学校がなくなつた地域の経済等の状況について検討はなされたのか。

**答** 子どもの健全育成や、子どもにとって望ましい学校の適正規模等の視点などから検討を進めたところで



《統合が発表されている浜脇中学校》

**問** 私としては、過疎化に進むので現時点では反対を表明します。

日本スポーツマスターズ大会を誘致する考えは。

**答** この大会は、企業協賛金及び大会参加料等により運営され、主催は(公)日本体育協会及び開催する各都道府県と、各自治体の体育協会などで協議を経たのち、誘致をどうかの方向性を検討していきたい。

**問** 朝見浄水場の山崩れについて、抜本的な防災対策をお願いしたい。

**答** 現在、市での応急対策を行い、引き続き防災工事を実施します。

**市民との協働で健康づくりを**

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

**問** 日本共産党市議団の市民アンケートには、医療費や介護保険料・国民健康保険

税が高くて困るという声が多く寄せられた。この声に伝えるためにも健康づくりが大事だ。健康長寿日本一の長野県に視察に行ったが、戦後一貫して市民と一緒に健康づくりに力を入れてきた。医療費が減額となった宇佐市でも健康推進員の市民が地域で健康づくりのリーダーとして頑張っている。別府市も一貫した協働の取り組みを進めるべき。

**答** 昨年度亀川をモデル地区とし自治会の協力のもと「健康づくり広め隊」を中心に健康教室や歩こう会等に取り組んでいる。今後、市内全域に広めていきたい。

**問** 正規・非正規の教員の数は。

**答** 教壇に立つ県費の教員453人のうち非正規は89人です。

**問** 教員の2割と非正規が多い現状に対して、教員の定数改善や正規教員を増やすよう要望すべき。

**答** 国や県に引き続き要望したい。

**問** 国保税の負担軽減、児童館増設等も実現していないが、市長は公約に対する姿勢が甘すぎる。ほかにも、ゆめタウン前の歩道橋設置は。

**答** 信号の時間や車の出入り等について協議している。

**水道管(配水管)老朽化について**

自民党議員団

松川 峰生 議員

**問** 全国的に水道施設の老朽化が懸念されているが、現在、市民に給水している配水管のうち、老朽管の位置づけと、更に配水管の老朽化の現状と、その老朽管の更新に年間どの程度の事業費を費やしているのか。

**答** 地方公営企業法の施行規則に規定されている耐用年数に基づき、敷設から40年間を経過した管路を老朽管と位置づけています。これ

は、資産の減価償却のための耐用年数であり、管路に使用できる年数とは異なり、40年以上の使用可能な配水管もあります。配水管の総延長の約49.1kmに対し、40年を経過した管路は約150kmであるため、配水管の老朽化率は、30.5%であります。平成21年から5年間の年平均建設改良工事は、約2億円で年間3.2kmの敷設替えを行っております。

**問** 年間3.2kmの敷設替えでは、追いつかないと考えるが、今後の老朽化した配水管の対応はどうするのか。

**答** 平成28年度に予定されている水道事業許可変更に伴い平成27年度に策定予定である基本計画では、災害に強い配水管路網の構築も主目的の一つとして考えておりますので、配水管の耐震化と併せて、効率的な老朽管の更新を進めていきたいと考えております。

**守れ！おんせん資源**

市民クラブ

森 大輔 議員

**問** エコ開発が資源や環境に及ぼす影響について不安に思う市民の声を多くお聞きする。限りある資源を守り次世代へ残すことが行政の最重要課題。新エネルギービジョン策定の趣旨は。

**答** 新エネルギー導入は利用程度によっては資源や環境そのものに影響を与えることから、推進するだけでなく逆に抑制出来る仕組みづくりが必要と考えます。

**問** 別府が有する利用可能な新エネルギー量はどのくらいか。

**答** 温泉熱利用で県内1位、太陽光太陽熱利用で県内2位の潜在能力を有しています。全体で本市のエネルギー消費量の約46%を賄うと推察されます。

**問** 別府は温泉に恵まれた土地だけに開発計画が増えると予測されるが、現行の温泉法で温泉を持続可能な資源として守っていけるのか。

**答** 現在の規制及び許可基準では対応出来ないことも考えられます。温泉の開発形態の変化に合わせた大分県の環境審議会温泉部会内規の見直しが必要と考えています。

**問** エコ開発が温泉資源や環境に与える影響をしっかりと調査すべきではないか。

**答** 影響調査については、大分県が市内4カ所の温泉場で監視基礎調査を行っています。今後は、温泉資源監視基礎調査対象とする源泉数の増を検討しています。



**平成26年度(第2回)「市民と議会との対話集会」活動報告**



《現地調査の様子》

今回の「市民と議会との対話集会」は、地域での身近な課題や問題に対して意見交換を行うことを目的といたしましたところ、前年を上回る参加者となりました。皆様方からは、防災・災害に対する危機意識、超高齢化社会における不安、議会としてのあり方など、数々の貴重なご意見、ご提言、ご要望をいただきました。後日、課題として取り上げられた箇所の現地調査などを行い、あらためて市長に対し、その内容を報告し、回答をいただきました。詳しくは市議会ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

# 第12回 べっぷ子ども市議会

(平成26年7月25日開会)

べっぷ子ども市議会は、市内各小中学校の代表者が議員となり模擬市議会を行いました。自分たちの住んでいる別府の諸問題や未来について、自ら課題を見つけ、考えることにより、市議会の重要さとふるさと別府を愛することの大切さを学びます。また、子どもたちから出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営に活用いたします。

議長		副議長		提言			
							
加藤 美月 議員 (中部中学校)	高橋 萌衣 議員 (青山中学校)	西牟田奈菜美 議員 (北部中学校)	久木原萌花 議員 (東山中学校)	山川 雅 議員 (山の手中学校)	福山 美羽 議員 (浜脇中学校)		
子ども宣言		謝辞		一般質問			
							
中村 美奈 議員 (朝日中学校)	安部 瑛士 議員 (鶴見台中学校)	山本 恵未 議員 (大平山小学校)	時枝美早紀 議員 (別府中央小学校)	神取 慧華 議員 (上人小学校)	高瀬真美子 議員 (西小学校)		
一般質問							
							
白石ひかる 議員 (石垣小学校)	丸井 彩夏 議員 (春木川小学校)	徳永 眞子 議員 (鶴見小学校)	大海 駿介 議員 (境川小学校)	小畑堅太郎 議員 (亀川小学校)	小関晃太郎 議員 (南立石小学校)		
一般質問							
							
姫野 聖大 議員 (緑丘小学校)	藤本 陽 議員 (南小学校)	秦 史弥 議員 (朝日小学校)	木山倫太郎 議員 (青山小学校)	田中 愛梨 議員 (東山小学校)			

## 編集後記

平成26年第3回市議会定例が終了しました。今回は、子育て・学校教育・道路・人口減少・財政・健康・エネルギーなど多様な質問がなされました。また水道局からは、水道事業の合理化・地熱発電給水などの新しい事業も行われます。広報広聴委員会としても議会前に公園施設・空き家対策・豪雨災害からの復旧状況・交通対策など要望事項の対処について市内視察を行ないました。

また、この夏の子ども市議会では、「学校からの情報発信」人のために何ができるか・高齢者の方や留学生との交流」などの質問もあり子どもの目線、子どもとの対話の大事さを感じました。

お手元に届く頃は、秋も深まりだんだんと寒くなります。体調管理に十分お気を付けの上、毎日をお過ごしください。

広報広聴委員会委員

副議長 穴井 宏二